

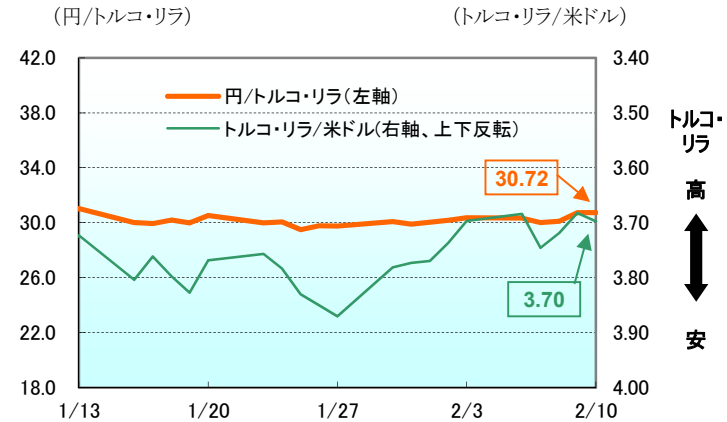
トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年2月4日～2017年2月10日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は、1週間を通して見ると対米ドルではほぼ横ばい、対円で上昇となりました。また、2年国債は金利上昇となりました。12月の鉱工業生産は前年同月比+1.3%と市場予想を下回る結果となりましたが、相場への影響は限定的となりました。またエルドアン大統領は、大統領権限の強化を盛り込んだ憲法改正案の是非を問う国民投票を実施する法案を承認しました。これにより、国民投票は4月16日（現地）に実施されることが決定しました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年1月13日～2017年2月10日)

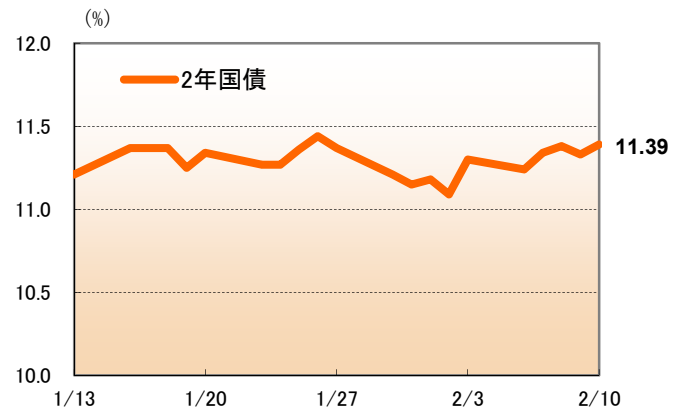


※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は経常収支の発表が予定されています。国内要因としては、引き続き憲法改正をめぐる議論など政治的動向に注目が集まりやすいと考えられます。政府は消費者の経済的負担を軽減し、消費の冷え込みに対処するため、一部の消費財などの税率変更を実施しましたが、一部では国民投票に向けたポピュリズム的政策との批判もあります。また、外部要因としては、米国のトランプ大統領の政策に左右されやすい環境が続くと考えられます。

【トルコ 金利推移】 (2017年1月13日～2017年2月10日)



【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考) 前回
2/8	月次	12月	鉱工業生産(前月比)	-0.2%	0.0%
2/8	月次	12月	鉱工業生産(前年同月比)	1.3%	2.8%
2/14	月次	12月	経常収支	-	-22.7億ドル

※「主要経済指標」は、資料作成時点のデータを基に作成しております。

(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>